

-SEAJ装置技術ロードマップ専門委員会-

2008年度 FI WG活動報告

◆ 今期よりITRS FIWGが掲げた「Waste Reduction」をテーマとして活動を開始。

① “品質の視点から”グループ

・FOUPの品質(空気質)をテーマにして問題点の抽出・管理の方法を検討した。

② “TAT(装置・AMHS)の視点から”グループ

・ロット供給からロット回収までの装置段取り時間に影響を及ぼす装置内機能と改善策を抽出した。

③ “エネルギー視点から”グループ

・FAB内におけるファシリティエネルギーの消費量を製造プロセス(装置群)ごとに調査し、ターゲットを絞った。

・真空ポンプのエネルギー消費動向を調査した。

・PVD装置の消費電力を機能部位ごとに分析し、プロセス実行中及びアイドル時の消費電力の比較を行った。

◆ 講演会・見学会

・大日商事(株)米沢工場見学会

・日本HP迎氏講演「MESについて」

・三菱電機(株)名古屋工場見学/セミコンポータル谷氏講演「システムLSIファブのベンチマーク調査」

・(株)日立国際電気富山工場見学

・セミコンインターナショナル服部氏講演「半導体生産のパラダイム転換」

・(株)半導体先端テクノロジーズ(SELETE)岩崎氏講演「ファブ生産性向上のための待ち時間分析」

・(株)荏原製作所藤沢工場ドライポンプ生産ライン見学

・東京大学・大場教授講演(三次元デバイス次世代量産工場の展望)

- 今後の課題 -

①“品質の視点から”グループ

- ・コンタミをテーマとして、洗浄技術とそれにかかわる「Waste Reduction」を調査していく。

② “TAT(装置・AMHS)の視点から”グループ

- ・抽出した機能と改善策について装置およびAMHSの両面から分析していく。

③“エネルギー視点から”グループ

- ・他のエネルギー消費の大きな装置を調査する。

- まとめ -

- ・2009年度も引き続き、①品質視点、②TAT視点、③エネルギー視点から「Waste Reduction」を検討する。
- ・ITRS, JEITA等の動向に注意し、「Waste Reduction」を定義・測定・評価する方法を調査研究する。